

令和3年度
長野市放課後子ども総合プラン事業
自己評価集計結果

長野市こども未来部こども政策課

令和3年度 長野市放課後子ども総合プラン事業 自己評価集計結果

長野市放課後子ども総合プラン事業ガイドライン（平成30年3月策定。以下「ガイドライン」といいます。）に基づき、令和3年度（令和2年度）における放課後子ども総合プラン事業の実施内容等について、実施場所ごとに自己評価を行いました。

《長野市放課後子ども総合プラン事業ガイドライン》

第2章 基本的事項及び管理運営

10 自己評価

事業者は、運営内容の向上のため、実施場所ごとに提供する支援の内容等について自己評価を行い、その公表に努めるものとします。

1 実施状況

対象：89施設 実施：89施設（実施率100%）

（参考：令和2年度 対象90施設 実施90施設（実施率100%））

2 集計結果（評価項目ごとの評価指標等については、次頁以降）

評価項目	評価結果				
	区分	◎	○	△	×
1 人権への配慮、秘密の保持等、基本的事項に関すること	R3年度	89施設	0施設	0施設	0施設
	R2年度	90施設	0施設	0施設	0施設
2 運営管理に関すること	R3年度	29施設	56施設	3施設	1施設
	R2年度	31施設	53施設	6施設	0施設
3 育成支援の内容に関すること	R3年度	61施設	27施設	1施設	0施設
	R2年度	68施設	21施設	1施設	0施設
4 配慮を要する児童への対応に関すること	R3年度	68施設	16施設	5施設	0施設
	R2年度	69施設	13施設	8施設	0施設
5 多様な体験活動、交流等の機会の提供に関すること	R3年度	32施設	36施設	19施設	2施設
	R2年度	40施設	22施設	25施設	3施設
6 安全管理に関すること	R3年度	58施設	27施設	4施設	0施設
	R2年度	64施設	24施設	2施設	0施設
7 保護者、学校及び地域との連携協力に関すること	R3年度	65施設	21施設	3施設	0施設
	R2年度	66施設	20施設	4施設	0施設

《評価項目1》人権への配慮、秘密の保持等、基本的事項に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R3年度	89施設	0施設	0施設	0施設
R2年度	90施設	0施設	0施設	0施設

◎ ○ △ ×

○、△、×は該当施設なし

※評価指標の「○」の数が4個⇒「◎」、3個⇒「○」、2個⇒「△」、1個以下⇒「×」

《評価指標》

(○の占める割合)

<p>① 児童及びその家族の人権に十分配慮し、一人一人の人格を尊重している。</p>	
<p>② 児童及びその家族の国籍、信条又は社会的身分等によって、差別的な扱いをしていない。</p>	
<p>③ 児童虐待等、児童の心身に有害な影響を与える行為をしていない。</p>	
<p>④ 児童及びその家族の個人情報を適切に取扱っている。また、正当な理由がなく、業務上知り得た児童及びその家族の秘密を外部に漏らさないよう配慮している。</p>	

結果

①～④について、全施設で児童やその家庭の人権の尊重やプライバシーの保護の重要性が認識され、情報の管理が徹底されている。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・児童への対応、言葉がけ、呼称などを職員同士が日常的に振り返り、職員会で反省している。また、保護者と会話する時の言葉遣いを相互評価するように努力している。
- ・個人のプライバシーを第一に尊重しつつ、児童の性格等を見極めながら会話や遊びをするように、常日頃気を付けている。
- ・児童登録票など個人情報が書かれた書類は、鍵のかかる書棚に保管している。
- ・1人1人の児童に寄り添い、場面場面で助言をしたが、児童がなかなか納得してくれないことがあった。保護者に話し、だんだんと職員との距離が縮まった。

《評価項目2》運営管理に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R3年度	29施設	56施設	3施設	1施設
R2年度	31施設	53施設	6施設	0施設

	◎	○	△	×
R3年度	33%	63%		3%
R2年度	39%	53%		8%

0% 20% 40% 60% 80% 100%
×は該当施設なし

※保育実費の負担を求めている施設（①～⑩）

評価指標の「○」の数が10個⇒「◎」、7～9個⇒「○」、4～6個⇒「△」、3個以下⇒「×」

保育実費の負担を求めていない施設（①～⑨）

評価指標の「○」の数が9個⇒「◎」、7・8個⇒「○」、4～6個⇒「△」、3個以下⇒「×」

《評価指標》

（○の占める割合）

① 実施日は、1年につき250日以上を原則とし、保護者の就労状況、学校の授業日、その他地域の実情を考慮して設定している。	R3年度 R2年度	99% 99%
② 実施時間の延長については、保護者の意向を把握するためのアンケート調査を地域の実情に応じて実施し、運営委員会で決定した方針に基づいたものとしている。	R3年度 R2年度	91% 91%
③ 運営規程を定め、運営規程に沿った事業運営を行っている。	R3年度 R2年度	98% 98%
④ 職員は、自己研さんに励み、児童の健全な育成を図るために必要な知識及び技能の習得、維持及び向上に努めている。また、職員間で必要な知識及び技能の共有を図っている。	R3年度 R2年度	99% 99%
⑤ 運営内容向上のため、提供する支援の内容等について自己評価を行っている。	R3年度 R2年度	92% 91%
⑥ 自己評価の結果は、掲示板への掲示や通信（施設だより等）への掲載などにより公表に努めている。	R3年度 R2年度	54% 52%

<p>⑦ 要望・苦情を受け付ける窓口を設置し、周知している。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	R3年度	83%	R2年度	86%
年度	割合						
R3年度	83%						
R2年度	86%						
<p>⑧ 苦情を受けた場合は速やかに対応し、申立人に対して丁寧な説明や対応を心掛け、誠意ある解決を図っている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	R3年度	100%	R2年度	100%
年度	割合						
R3年度	100%						
R2年度	100%						
<p>⑨ おやつ提供については、保護者の意向を把握するためのアンケート調査を地域の実情に応じて実施し、運営委員会で決定した方針に基づいたものとしている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>76%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	R3年度	76%	R2年度	76%
年度	割合						
R3年度	76%						
R2年度	76%						
<p>⑩ おやつ代等保育実費の負担を求める場合、保護者に対して料金設定の理由を明確にしている。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">令和3年度対象施設は、42施設</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	R3年度	93%	R2年度	96%
年度	割合						
R3年度	93%						
R2年度	96%						

結果

- ・②の延長実施については、職員確保などの問題があり、保護者の意向に沿えない問題がある。
- ・⑥の自己評価の結果を公表した施設の割合は、前年度から上昇しているが、5割程度にとどまっている。
- ・⑦のガイドラインに定める苦情の受付窓口の設置・周知の達成割合は前年度から減少したものの、⑧の苦情を受けた場合の対応については、全施設で速やかにかつ丁寧な解決を図っている。
- ・⑨のおやつ提供について、保護者アンケートの実施による運営委員会での決定に基づいている施設は、昨年度と同様8割弱である。
- ・⑩のおやつ代等の保育実費について、保護者に対して料金設定の理由を明確にしている施設の割合が減少した。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・開館日数や実施時間については、職員の人数や働き方（家庭事情）に課題があり、市の延長方針に対応できていないのが実情である。
- ・運営に関しては可能な範囲で、アンケート結果に沿うように行っている。しかしながら受け入れ人数の増加、職員不足で必ずしも希望に添えていない。
- ・児童の理解や支援の仕方などの研修には必ず参加し、参加者が職員会で発表して職員全員で共有するようにしている。
- ・この「自己評価シート」を施設の掲示板に公表し、「おたより」などでも保護者へ知らせている。
- ・要望・苦情の受け付け窓口としては、主として館長が対応しているがそのことを周知はし

ていない。

- ・苦情内容を児童からも確認し、今後同じようなことが起きないように職員同士伝達をし、保護者にも対応内容を伝え、コミュニケーションが絶えないように心掛けている。
- ・保護者へのおやつのアンケート調査をしていないが、習い事などで、途中で早く帰る子も多い為一律に提供できない。
- ・当施設はおやつの提供は行っていない。おやつについては過去保護者の意向を調査したことがあり、おやつを望む保護者は少なく、尚且つ昨今の食物アレルギーを有する児童が多いことから提供をやめている。
- ・コロナ禍ということもあり、おやつを中止したが、おなかがすくようでデザートという名目でこっそり食べていた子もいたので、今後の課題か。

《評価項目3》育成支援の内容に関すること

評価結果						
区分*	◎	○	△	×		
R3年度	63施設	26施設	0施設	0施設	R3年度	71% 29% 0%
R2年度	68施設	21施設	1施設	0施設	R2年度	76% 23% 1%

×は該当施設なし

※おやつを提供している施設（①～⑨）

評価指標の「○」の数が9個⇒「◎」、7・8個⇒「○」、4～6個⇒「△」、3個以下⇒「×」

おやつを提供していない施設（①～⑧）

評価指標の「○」の数が8個⇒「◎」、6・7個⇒「○」、4・5個⇒「△」、3個以下⇒「×」

《評価指標》

（○の占める割合）

① 児童の出欠席についてあらかじめ保護者からの連絡を確認しておくとともに、児童の心身の状況を把握するようにしている。	R3年度 78% R2年度 81%
② 実施場所での生活を通して、児童が日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるよう支援している。	R3年度 100% R2年度 99%
③ 児童が発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるよう支援している。	R3年度 97% R2年度 97%
④ 児童が自分の気持ちや意見を表現することができるよう支援している。	R3年度 99% R2年度 98%
⑤ 児童が悩みや相談事を話しやすい雰囲気づくりに心掛けるようにしている。	R3年度 98% R2年度 98%
⑥ 児童が安全に安心して過ごすことができるように環境を整備するとともに、緊急時に適切な対応ができるようにしている。	R3年度 97% R2年度 99%

<p>⑦ 実施場所での児童の様子を日常的に保護者に伝え、児童に関する情報を保護者と共有するようにしている。</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>R3年度</td><td>100%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>99%</td></tr> </table>	年度	実施率	R3年度	100%	R2年度	99%
年度	実施率						
R3年度	100%						
R2年度	99%						
<p>⑧ 児童の健康状況を観察し、病気やけがの場合には、保護者と連絡を取り、迎えに来てもらったり、状況に応じて医療機関につなげたりするなど、児童が安心して回復に向かうことができるよう配慮している。</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>R3年度</td><td>100%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>100%</td></tr> </table>	年度	実施率	R3年度	100%	R2年度	100%
年度	実施率						
R3年度	100%						
R2年度	100%						
<p>⑨ おやつを提供する場合、提供する時間や内容、量等は、児童の来所時間や帰宅時間、遊びや生活の流れ、児童の状態を考慮している。</p> <p style="text-align: center;">令和3年度対象施設は、33施設</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>R3年度</td><td>100%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>98%</td></tr> </table>	年度	実施率	R3年度	100%	R2年度	98%
年度	実施率						
R3年度	100%						
R2年度	98%						

結果

- ・①の出欠の事前把握については、前年度より減少しており、約2割の施設で実施できていない。
- ・②～⑤の児童への支援や相談環境づくりについては、前年度と同等かそれ以上でほとんどの施設において適切に実施されている。
- ・⑥の児童が安全に安心して過ごすことができる環境整備等において、前年度より減少している。
- ・⑦、⑧の保護者との情報共有や病気やけがへの対応については、全ての施設で徹底されている。
- ・⑨のおやつを提供する場合の児童の来所時間等の考慮について、前年度より上昇し、全ての施設において実施されている。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・児童出欠については、学校の先生と連絡をとりあっている。また感染症などの情報や欠席については、保護者から直接、連絡をもらうようにしている。
- ・毎日の児童の出欠席については、保護者から直接聞いていない。習い事や都合で休む児童が多い。感染症などの時には、保護者から連絡が直接はいる。
- ・出席率60～70%のなか、出席者を保護者に事前連絡させることは、保護者・施設とも対応が大変である。
- ・長期休み期間はセンターで過ごす時間が長時間に及び、外遊びができない時はいらいらが散見される。
- ・日常的に児童と職員は家庭にいるような感覚で接している。その為か児童は何もかも包み隠さず話してくれる。
- ・その日、その日の児童の様子を見ながら、状況に応じた対応を心掛けている。また、そのことを職員同士共有できる工夫をしている。
- ・子ども達の、表情や来た時の声の状況、時には友達などから学校での様子を聞くことで、子どもの心身の状態を把握しようと努めた。

- ・児童間や活動内で課題が生じた時は、話し合いの時間を取り、児童が主体的に考え納得してルールとして捉えられるようにしている。
- ・新型コロナウイルス対策で「密閉・密集・密接」が呼びかけられているが、現状では児童センターの施設が狭いため「児童が安全に安心して過ごせる環境」とは言えない。
- ・児童のお迎え時にプラザでの様子を必ず連絡している。また、「プラザだより」や「連絡ノート」により保護者と情報を共有するように心掛けている。
- ・緊急時に備え、救急車の手配、医院・病院の連絡先、関係機関・職員の連絡網の掲示、学校への協力要請手順の確認ができるように配慮している。

《評価項目4》配慮を要する児童への対応に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R3年度	68施設	16施設	5施設	0施設
R2年度	69施設	13施設	8施設	0施設

年度	◎	○	△	×
R3年度	76%	18%	6%	0%
R2年度	77%	14%	9%	0%

◎ ○ △ ×
×は該当施設なし

※評価指標の「○」の数が6個⇒「◎」、5個⇒「○」、3・4個⇒「△」、2個以下⇒「×」

《評価指標》

(○の占める割合)

① 児童同士が生活を通して共に成長できるよう、障害のある児童についても受入れに努めている。	R3年度 R2年度	99% 98%
② 障害のある児童の受入れの判断は、児童や保護者と面談の機会を持つなどして、児童の健康状態、発達の状況、家族の状況、保護者の意向等を個別に把握し、適切に行っている。	R3年度 R2年度	97% 93%
③ 障害のある児童の育成支援については、個々の状況に応じて、関係機関及び専門家と連携を図っている。	R3年度 R2年度	83% 84%
④ 障害のある児童の育成支援が適切に図られるように、児童の状況に応じた職員の配置や加配に努めている。	R3年度 R2年度	94% 94%
⑤ 児童虐待が疑われる場合には、市又は児童相談所に速やかに通告するようにしている。また、学校及び関係機関と連携して適切に対応している。	R3年度 R2年度	99% 98%
⑥ 児童間でいじめ等の関係が生じないように配慮し、いじめ等の問題が生じたときには速やかに学校に連絡し、保護者、学校、関係機関と連携して適切に対応している。	R3年度 R2年度	99% 97%

結果

- ・ ①、②の障害のある児童の受入れ等は進んでおり、前年度より上昇している。
- ・ ③の障害のある児童の育成支援については、前年度とほぼ変わらず8割強程度である。

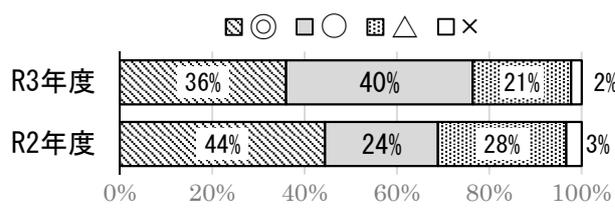
- ・④の障害のある児童への職員の配置や加配は、人材不足等の問題により達成できていない施設がある。
- ・⑤の児童虐待への対応については、昨年度より上昇し、ほぼ全ての施設において適切な対応を行っている。
- ・⑥の児童間でいじめ等への対応については、昨年度より上昇し、ほぼ全ての施設において適切な対応を行っている。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・障害を持つ児童の受け入れに際しては、学校・関係機関・保護者と打ち合わせをし、受け入れ後の支援の仕方についても継続して情報交換を行っている。
- ・障害のある子だけでなく、気になる子などについても、職員間で話し合いを持ったり、保護者の方との面談を持ったりし、対応に配慮している。
- ・障害の程度によっては、プラザで対応することが困難な場合も考えられる。関係する機関としっかり連携を密にして対応をしていきたい。
- ・コロナ禍のため放課後デイサービス・障害者通所施設等との連携が不足しているのが現状である。
- ・障害のある児童の受入れ前の判断は、面談機会はほとんどなく、受け入れている。
- ・2階建てのため、身体的に障害のある子は受け入れが難しい（気持ちはあっても受け入れができない）。
- ・現在発達障害の児童を受入れ、加配も付けてもらっているが、グレーゾーンの児童も何人かおり、保護者からの申し出もなく新学期が始まってから明らかになるケースが有り困惑している
- ・配慮を要する児童の対応については難しい面があるが、研修や学校及び保護者と連携しできる範囲で対応している。

《評価項目5》多様な体験活動、交流等の機会の提供に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R3年度	32施設	36施設	19施設	2施設
R2年度	40施設	22施設	25施設	3施設



※評価指標の「○」の数が4個⇒「◎」、3個⇒「○」、2個⇒「△」、1個以下⇒「×」

《評価指標》

(○の占める割合)

① 児童に多様な体験活動、交流等の機会を定期的かつ継続的に提供している。	R3年度 79% R2年度 74%
② 小学校区における事業の円滑な実施を図るため、運営委員会、学校関係者、地域組織（母親クラブ等）、地域住民、保護者等との総合的な調整に努めている。	R3年度 82% R2年度 82%
③ 地域社会全体で児童を見守り育む機運を高めるため、地域ボランティアの掘り起しと、活用に努めている。	R3年度 51% R2年度 51%
④ 活動の内容は特定のものに偏ることのないよう配慮し、児童の要望を反映するように努めている。	R3年度 83% R2年度 87%

結果

- ・①の体験活動等の提供を実施した施設は、新型コロナの感染防止に努めながら可能な範囲で取組みが行われ、前年より上昇した。
- ・②、③ができている割合は、前年度と同じであり、引続き運営委員会等の関係機関との調整や地域ボランティアの掘り起こしや活用が課題となっている。
- ・④については、新型コロナの影響で活動が制限され、前年度より割合が減少した。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・新型コロナ感染防止対策のため、交流等は自粛している。
- ・コロナ感染予防の為、交流・ボランティア・アドバイザー等は計画通りに行われなかった。
- ・コロナ禍の中、集会や様々な催しものが制限される中、地域ボランティアの掘り起こしは難しい。
- ・コロナの状況で、今年度の活動も難しかった。ただ、夏休み中、サマチャレさんが、来て

くれて、子供たちも喜んでいました。

- ・できる限りアドバイザー活動を取り入れ、子どもたちに多様な体験をして頂こうと努めている。
- ・人気のアドバイザーさんに継続的に来てもらい、普段できない遊びを提供してもらっている。ただ、中には自由に遊びたいと思っている児童もいるので、どの程度の体験や交流をしたらよいか悩んでいる。
- ・コロナ禍で3密をさけるため、母親クラブの活動ができなかった。母親クラブの会員も高齢の人が多く、来ていただきにくくなった。コロナが収まったら、母親クラブに児童の見守り等をお願いしようと思っている。
- ・運営委員会が児童センターの運営を主体的に担う体制になっていないため、諸課題について実践的な動きにならないのが問題である。

《評価項目6》安全管理に関すること

評価結果					
区分*	◎	○	△	×	
R3年度	59施設	27施設	3施設	0施設	
R2年度	64施設	24施設	2施設	0施設	

×は該当施設なし

※おやつを提供している施設（①～⑨）

評価指標の「○」の数が9個⇒「◎」、7・8個⇒「○」、4～6個⇒「△」、3個以下⇒「×」

おやつを提供していない施設（①～⑧）

評価指標の「○」の数が8個⇒「◎」、6・7個⇒「○」、4・5個⇒「△」、3個以下⇒「×」

《評価指標》

（○の占める割合）

① 児童の手洗いやうがいを励行するなど、日常の衛生管理に努めている。	
② 感染症の発生状況について情報を収集し、感染症の発生や疑いがある場合には、二次感染を防止するための措置を講じるようにしている。	
③ 実施場所及びその周辺の設備等の安全性について日常的に点検している。	
④ 事故及びけがの防止に向けた対策や発生時の対応に備えた訓練又は研修を実施している。	
⑤ 事故及びけがが発生した場合には、速やかに適切な処置を行い、速やかに保護者に連絡するようにしている。	
⑥ 災害等が発生した場合に迅速かつ適切に対応できるように定期的に訓練を実施している。	

<p>⑦ 市及び学校等関係者と連携を図り、地域における児童の安全確保及び安全点検に関する情報の共有に努めている。</p>	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>93%</td> </tr> </table>	年度	割合	R3年度	88%	R2年度	93%
年度	割合						
R3年度	88%						
R2年度	93%						
<p>⑧ 災害等が発生した際に保護者及び市、学校等に速やかに連絡できるよう連絡体制を整備している。</p>	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>96%</td> </tr> </table>	年度	割合	R3年度	93%	R2年度	96%
年度	割合						
R3年度	93%						
R2年度	96%						
<p>⑨ おやつを提供する場合には、食物アレルギー及び窒息事故の防止に留意するとともに、食中毒防止のための衛生管理を徹底している。</p> <p style="text-align: center;">令和3年度対象施設は33施設</p>	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>98%</td> </tr> </table>	年度	割合	R3年度	100%	R2年度	98%
年度	割合						
R3年度	100%						
R2年度	98%						

結果

- ・①～③の日常的な衛生管理や感染症対策、安全管理等については、ほぼ全ての施設で徹底されている。
- ・④の訓練・研修の実施割合は年々上昇しているが、約1割強の施設で達成できていない。
- ・⑤の事故やけがへの対応は全ての施設で徹底されている。
- ・⑥、⑦の災害等の訓練や安全確保等の情報共有は、新型コロナの影響もあり苦慮している施設があった。
- ・⑧の連絡体制の整備は、苦慮している施設があり、保護者への一斉メールの仕組みを望む意見があった。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・感染症拡大に伴って、手洗いとうがい・消毒など徹底を図った。児童はよく指示を守り抜いていた。
- ・災害やコロナ感染症関連の保護者への緊急連絡など一斉送信などできず、学校メールに頼っている状態。直接送ることができるシステムの構築を望む。
- ・感染症については、衛生管理を徹底している。また宿題などするときでも、個々の間に仕切りを設け密の状態になるのを防いでいる。
- ・消防計画に基づく防災訓練を2回実施した。洪水時の避難確保計画に基づく机上訓練を1回実施した。
- ・コロナ禍のため、全体での訓練、研修ができずに終わってしまった。来年度は、小学校から離れてのセンター運営なので、訓練・研修を実施したい。
- ・児童の事故やけがに対しては職員が瞬時に対処し、保護者への連絡、関係機関への通報、情報共有するように努力している。
- ・食物アレルギーのある児童については職員室内に掲示して職員に理解を徹底している。
- ・感染症(新型コロナ)情報に関して、学校側からの情報が薄いことが気になる。当方から学校に情報を求めにくい雰囲気があり苦慮している。
- ・安全管理については、常に意識しているところではあるが、全員が問題意識を持ち、ヒヤリハットを共有化して、事前に大けが等は防ぎたい。

《評価項目7》保護者、学校及び地域との連携協力に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R3年度	65施設	21施設	3施設	0施設
R2年度	66施設	20施設	4施設	0施設

◎ ○ △ ×

×は該当施設なし

※評価指標の「○」の数が4個⇒「◎」、3個⇒「○」、2個⇒「△」、1個以下⇒「×」

《評価指標》

(○の占める割合)

<p>① 保護者との信頼関係を築くよう努めるとともに、子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。</p>	
<p>② 保護者から相談がある場合には、保護者の気持ちを受け止め、対応している。</p>	
<p>③ 児童の毎日の生活が学校、実施場所、家庭の間で連続性をもって円滑になるよう、学校と情報交換を行い、連携を図っている。</p>	
<p>④ 児童が地域の中で健やかに育つことができるよう、運営委員会及び民生委員・児童委員、地域組織（母親クラブ等）、児童に関わる関係機関等との情報交換、情報共有及び相互交流を行い、連携を図っている。</p>	

結果

- ・①、②の保護者との関係や対応については、全ての施設で適切な対応をしている。
- ・③について、学校との情報交換及び連携が進んだ。
- ・④について、新型コロナ感染拡大の影響があり、地区の運営委員会、地域の児童福祉関係者等との情報共有等の連携が約3割の施設で達成できていない。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・日頃から送迎時等に保護者からの相談を真摯に伺い、必要な情報を共有するよう心がけている。
- ・些細なことでも保護者との連絡を必ず行えるように意識している。
- ・保護者に対しては心配りができていると思うが、他機関との連携が難しい。
- ・学校とは、年間行事予定の情報交換、学校評議員会での情報交換、学級担任との懇談など

で連携を図っている。

- ・毎月センター便りを発行し、保護者及び運営委員にセンターの出来事を報告している
- ・学校の先生方が「多忙」を理由に懇談会や情報交換になかなか応じてくれないのが課題である。
- ・コロナ感染症の拡大のため、学校との情報交換の機会の減少したこと。また、地域での情報交換、情報の共有化など相互交流が大幅に減少した。
- ・運営委員長とは連絡を取り合っているが、コロナで運営委員会が開催できずに、情報の共有が不十分。今年度は運営員会を開催する予定。
- ・母親クラブが活動を停止したため、児童に関わる地元の関係機関との連携が希薄になってしまった。

